

平成21年度埼玉60総会記念講演(要旨)

「内外情勢雑感」

平成21年2月1日

東部方面総監部幕僚長(兼)

朝霞駐屯地司令陸将補木野村謙一



1 前言

昨年の世相を表す漢字は「変」だったが、丑年である今年も激動の年となることであろう。過去の丑年を振り返っても中東戦争や日航機墜落事故等大きな事件・事象が発生した。

2 中国

昨年は、北京オリンピックの年であり関心を持って見ていたが、餃子事件を巡る捜査、オリンピック開会式での少女の口(くち)パク事件やCGによる偽映像等「偽装」について多くのことが報道された。

これらのことを考えると平成13年の中国出張が思い出される。2008年オリンピック開催地を決定する国際オリンピック委員会(IOC)が、訪中していた同時期での出張であり北京の国際空港から中心部までの沿道(数十km)は、無数の五輪旗が掲げられていた。移動間、路肩に車を止めて緑の美しい芝生を見ると冬で枯れている芝生に

緑のスプレーで着色したものであった。IOCへの豪華な土産とこれらの偽装が功を奏して有力な候補地であった大阪を破ったのかとの思いを強くした。

一昨年にも北京に行ったが、オリンピック開催一年半前であったにもかかわらず有名な「鳥の巣」のメインスタジアム等は、まだ形すら伺えない状況であった。日本では考えられないような突貫工事で建設したのであろうが、その工期の短さに「偽装」工事が連想された。

3 朝鮮半島

京都の丹後半島には浦島神社があり、昔話の「浦島太郎」に因んだものと言われている。丹後半島は古くから朝鮮半島とは往来があり、古墳群からは朝鮮伝来の器が出土し、現在もハングル文字が付記された多くの漂流物が発見されている。日本海の流れは、沿岸の京都、福井、石川等から朝鮮半島東岸を経て再び日本に到達する。海で難破した浦島が亀に連れられて行ったとされる竜宮城は、朝鮮半島の古い建物に似ており乙姫様の衣装はチマチョゴリに近似していることから頷ける。

北朝鮮は、金正日の後継問題が注目されるが、生命ある者いつかは死を迎えるのであり、早いか遅いかは判断できないが想定される範囲の中での結末と成るであろう。

そのための対応準備は取らなければならない。米国のオバマ政権の関心を引くため、また韓国の李政権による宥和政策の放棄が南北の緊張を高めている口実とするため、さらには北朝鮮国内の変化を隠蔽するためにも強硬政策を継続することとなる。

4 ロシア・グルジア

北京オリンピック期間中に起きたロシア・グルジア紛争は、我が国にも警鐘となる。「諸国民の公正と信義を信頼」して日本の

安全と生存を保持しようと規定した憲法前文を墨守するだけでは、まさに絵空事であり、日本が戦争を放棄しても侵略されない保証はない。国連は重要ではあるが、今回の紛争を通して拒否権を持つ常任理事国の前には国連も無力であることを露呈した。

## **5 イラク・アフガニスタン**

テロ等による民間人の死者数は、このところ逐次減少している。その理由は、民間人も巻き添えにするテロ組織に対する国民

の反感が深まりテロ組織から離反してきており治安機関の人員数も逐次増加している。また、復興により輸出の重要な産品である石油の生産量も大幅に増え国民の生活も逐次改善されてきた事による。オバマ大統領は、就任後16ヶ月以内の米軍撤退及びアフガニスタンへの増派を公約としているが、我々としても慎重に見ていく必要がある。